

西部地域連絡調整会議の報告について

1 平成21年度1回西部地域連絡調整会議（平成21年5月26日）

○ 意見交換

- ・ 障害福祉サービスから介護保険制度へのスムーズな移行について
- ・ 日常生活用具の基準額について
- ・ 新潟県の発達障害者等支援・特別支援教育総合推進事業運営会議で作成した相談支援ファイルについて

○ ケース事例

番号	障がい等	概要／意見等／課題	
1	知的障がい 未成年	概要	自閉症がある。移動支援は事業者の体制の問題で希望どおりの時間に利用できず、日中一時支援は1対1の支援が必要となるため、体制の問題もあり利用が難しい。
		意見等	・ 学校ともよく連携し、こだわりについては、あまり禁止しない方がうまくいくこともある。
		課題	● 社会資源の開発・改善
2	精神障がい 成年	概要	金銭管理や服薬管理がうまくできず、規則正しい生活が送れていない事例。
		意見等	・ 必要に応じて、訪問看護や日常生活自立支援事業を活用し、地域で生活できるとよい。
		課題	● 権利擁護（財産管理） ● 相談機能の充実（ケアマネ）
3	知的障がい 精神障がい 成年	概要	犯罪を繰り返す精神・知的障がい者の在宅支援
		課題	● 権利擁護（触法）

2 平成21年度2回西部地域連絡調整会議（平成21年9月1日）

○ 意見交換

- ・ 発達障がい支援センターの概要について
- ・ 地域での民生委員等とのつながりについて
- ・ 障害程度区分の認定について

○ ケース事例

番号	障がい等	概要／意見等／課題	
1	知的障がい 精神障がい 成年	概要	施設へ対し要求が通らないと自傷行為を行う。通える施設が見つからない。
		意見等	・ チーム全員で支援することが大事。その際、チーム全体で同じ支援アプローチを取る。安易に利用者の要求を聞くことはすべきでない。
		課題	● 関係機関のネットワーク化
2	知的障がい 成年	概要	施設やグループホームなどでのルール（異性問題や喫煙）を守れない事例。
		意見等	・ 異性問題、結婚については、なかなか難しい問題であるが、周りの支援者を含めた合意形成が無いとうまくいかない。
		課題	● 権利擁護（人権、権利）